

第3期ましこ未来計画改訂（案）に対するパブリックコメントの結果について

- (1) 実施期間 令和5年11月2日（木）～11月19日（日）
- (2) 閲覧場所 益子町役場、中央公民館、あぐり館、改善センター及び町ホームページ
- (3) 意見件数 8件
- (4) 意見の内容及び町の回答

No.	意見の内容	回答
1	国の施策であることから進めていくことは必須であるだろうけれど、アプリの導入や窓口の電子化など、町民が直に関わってくるようなものは、住民を中心に考え検討を進めていただきたい。	アプリやシステムの導入、電子化の推進などは、住民の利便性向上を目指しています。検討においては、町民の意見を参考にしながら、町民の利用しやすいものの導入に努めてまいります。
2	デジタルデバイドの拡大が懸念されるので、柔軟に対応できるようなシステムづくりや、いろんな世代、障害者、困窮者などに適応する多様な想定が必要であると思う。	デジタルデバイドの拡大は懸念されますので、スマホ教室の開催や柔軟に対応できるようなシステム等を検討し、多様なニーズを満たせるよう取り組みます。
3	DX人材育成の研修開催時には、他機関も参加可能にさせていただければ、町全体の人材レベルの底上げにつながるのでぜひ考慮いただきたい。	他機関のDX人材育成研修の参加については、今後の検討とさせていただきます。
4	第3期ましこ未来計画改訂（案）について、各施策に対して提起しており、内容も分かりやすく問題はないと考えます。 検討していただきたい項目 施策2 若者のUJターンの推進 具体的行動の5「空き家・空き家跡地などの情報を集約し、新婚家庭や移住者向け住宅・宅地等として情報を発信します」とありますが、情報集約・発信等に具体的にデジタル関係を記載する必要はないでしょうか。どこでも・誰でも・いつでも 情報を得ることは非常に大切なことです。	ご指摘のとおり、空き家等の情報集約や若者向けの情報発信についてはデジタル技術の活用は有効であるため、町公式ホームページやSNSでの情報発信などの既存の取組に加えて、情報集約や発信でのデジタル技術の活用について検討を進めているところです。したがって、「空き家・空き家跡地などの情報を集約し、新婚家庭や移住者向け住宅・宅地等としてデジタル技術も活用し情報を発信します。」と改め、デジタル技術の活用についての表現にいたします。

5	<p>全体を通して、今までの「まちの全体計画」にも増して、新しい用語やその略称などの表現が多いので、内容を理解するのには、そのための知識（基礎領域を越えた専門的な知識も多く含む）が必要だと感じました。「※」を使った説明・解説がなされていますが、難しく感じました。</p> <p>特に、今後は「デジタル技術の活用」について、町民に広く理解してもらい、具体的に活用してもらうことが求められるのですが、計画に沿って進めていくには、格差が生じないような分かりやすいサポートや、活用することのメリットを丁寧に説明することが求められると思います。説明できる職員の育成も重要だと思います。</p> <p>各分野の設定目標等について、すでに目標値に達した項目については、現状の実態分析に基づいて目標値が割り出されているものと思われる所以、原案で良いのではないかと思います。</p>	<p>今までよりも新しい用語や略称などの表現が多く、より難しく感じるとのご意見を受け止め、少しでも理解しやすい表現を検討してまいります。</p> <p>デジタル技術の活用については、町民に理解していただき活用してもらうことが重要であります。広報ましこや町ホームページでのDX関連ページを作成するなど、町民に身近な媒体等での案内を心がけています。また、分かりやすいサポートなどを行うことでデジタル技術活用の格差が生じないよう、丁寧な説明を行ってまいります。</p> <p>職員の育成については新規の具体的行動を追加し、研修などを通じて計画的なDX人材育成を行い、全体的な知識の底上げを図ります。</p>
6	<p>基礎目標3 社会的に自立した人を育てるについて、学校現場において、児童生徒が1台ずつPC・タブレットを使える環境が整えられて、町が進めるデジタル技術の活用の基礎になるものと考えます。町として、児童生徒に指導する側の負担軽減のために人的支援はもちろんのことソフト面の充実を図るための予算的支援の維持・継続を期待します。</p>	<p>学校現場におけるデジタル技術の活用については、校務支援ソフトの導入やICT支援員によるサポートを行っておりますが、これからさらにデジタル技術の活用が進むことが予想される中、環境を整えることは重要と考えますので、予算的支援の維持・継続について引き続き検討してまいります。</p>
7	<p>全般的によくまとめられており特に問題はないと思う。この計画にもとづき行政及び町民がより良い益子町のために活動していくべき今和7年度の目標値も達成されるはずである。そのためには、少なからず行政から町長への働きかけが必要となると思うので、よろしくお願いしたい。</p>	<p>町長をはじめ行政や町民などとともに取り組む計画であり、まちの将来像「幸せな協働体（共同体）ましこ」を実現するため、町全体として活動を推進していきます。</p>
8	<p>政策2 施策1 具体的行動の3について、このままでよいが、デジタル図書すべてがまかなえるわけではないと思う。人によっては、デジタル図書の時代なのだから図書館はいらないなどと言っているとも聞く。子どもたちにこそ紙ベースの図書が必要だと感じる。</p>	<p>紙ベースの図書については、これからも変わることはなく重要と感じています。一方、図書館に行くことが難しい方なども読書ができるような取組のひとつとして、デジタル図書の活用なども検討しています。</p> <p>このことから「移動図書館の活用やデジタル図書の検討により読書活動をさらに進め、ソウゾウ（想像・創造）する力を高めます。」と改め、紙ベースの読書活動に加え、移動図書館やデジタル図書の活用を検討する表現といったします。</p>